



# 導入参考資料

■宅内使用機器

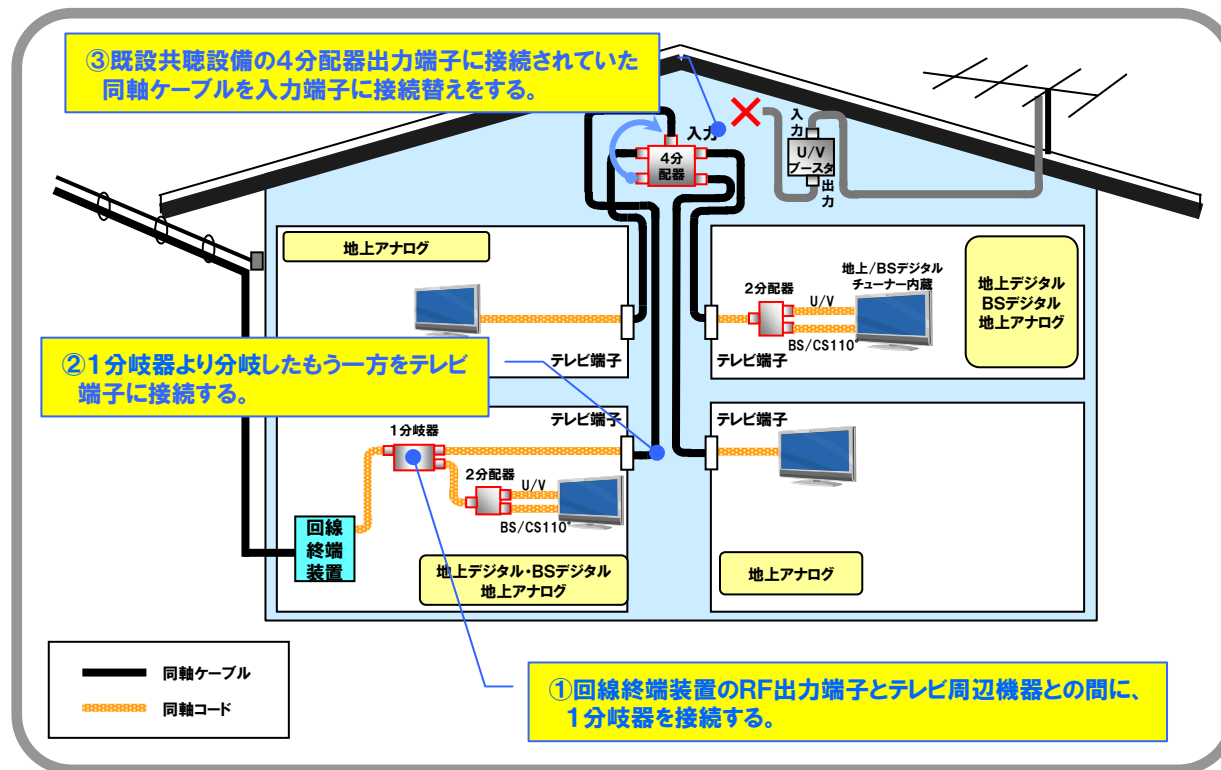
・宅内で使用する機器は、以下の仕様を満たすものを使用してください。

<p><b>【同軸ケーブル】</b> (中長距離の配線に用いる同軸)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宅内(幹線)の施工で使用する同軸ケーブルは、原則5C-FB(テレビ信号伝送用発砲ポリエチレン絶縁ビニルシース同軸ケーブル)以上に適合しているものを使用してください。</li> <li>・NTT東日本が設置する回線終端装置への接続は、高周波C15形のF型コネクタ(EIAJ RC-5223 準拠)を使用してください。</li> </ul>
<p><b>【同軸コード】</b> (短距離の配線に用いる同軸で、目安は3m以内程度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ端子への接続やテレビ周辺機器の接続に用いる場合の同軸コードは、4C-FB(テレビ信号伝送用発砲ポリエチレン絶縁ビニルシース同軸ケーブル)或いは、S-4C-FB(衛星放送受信用発砲ポリエチレン絶縁ビニルシース同軸ケーブル)以上に適合しているものを使用してください。</li> </ul>
<p><b>【分岐・分配器】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空端子には、ダミー抵抗器(終端抵抗器)を取り付けてください。</li> <li>・伝送帯域70~2150MHzに対応のものを使用してください。</li> </ul>
<p><b>【ブースター】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝送帯域70~2150MHz対応で且つ利得が25dB以上のものを使用してください。</li> </ul>
<p><b>【テレビ端子】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝送帯域70~2150MHz対応の接続F座タイプを使用してください。</li> <li>・挟み込みタイプは、ノイズの飛び込みや信号漏洩を引き起こす原因となりますので、使用しないで下さい。</li> <li>・妨害電波や飛び込みノイズに強い高シールド型テレビターミナルを使用してください。</li> </ul>

## ■ご注意いただきたい事項

- 既設の分配器、同軸ケーブル等の使用機器が、弊社指定の仕様に適合するか、ご確認ください。
- 既設の同軸ケーブルの種類によっては、ご希望の放送を視聴するために、同軸ケーブルの張り替えが必要となる場合があります。
- 既存共聴設備によってはブースターの設置が必要となる場合があります。
- 既設のブースターについては、視聴を希望する放送に対応しているか、対応放送及び対応周波数帯等の表示を確認してください。対応していない場合は、ブースターの交換が必要となる場合があります。

## ■代表的な配線例



## 【配線の方法】

- ① 回線終端装置のRF出力端子とテレビ周辺機器との間に、1分岐器を接続する。
- ② 1分岐器より分岐したもう一方をテレビ端子へ接続する。
- ③ 既設共聴設備の4分配器出力端子に接続されていた同軸ケーブルを入力端子に接続替えをする。

◆実際の施工にあたりましては専門の工事会社へご相談ください。

■NTT東日本の回線終端装置技術仕様

- RF出力周波数帯域は、70～2072MHzです。
- RF出力レベルは、次の通りです。

アナログ映像信号	82.0dB $\mu$ V以上
64QAM・OFDM	68.3dB $\mu$ V以上
256QAM	73.8dB $\mu$ V以上
BS-IF	75.0dB $\mu$ V以上
CS-IF	72.0dB $\mu$ V以上

【その他注意事項】

- 光ファイバの断線は映像視聴障害を引き起こす恐れがありますので、光ファイバのお取り扱いには十分ご注意ください。